

平成26年度 第2回宮城県教科用図書選定審議会議事録要旨

平成26年5月28日(水) 13:30~15:30

宮城県行政庁舎 9階 第一会議室

進行
事務局
進行

- 資料の確認
 - 配布した議事録要旨と事前送付した議事録要旨との違いと公開について
 - 欠席者(〇〇委員)及び開催条件の確認
 - 開会
- <審議進行は委員長>

審議事項(1)教科用図書の採択基準,(2)教科用図書(一般図書)の採択基準について

委員長

- 前回の審議会では活発な意見交換がなされた。専門委員にその主旨が十分説明なされた。質問のあった件、事務局預かりとなっていた文言、表現については精査の必要があると考えられるが、現在のままとして差し支えないということで、そのままの対応とした。
- (1)教科用図書採択基準,(2)一般図書採択基準については前回承認をいただいているので、併せて事務局から説明願う。

事務局

- 第1回審議会では、平成23年度使用教科用図書の採択基準を基に、3(1)について思考力・判断力・表現力等の文言を取り入れた27年度使用教科用図書採択基準について審議いただいた。その結果、教科外の教育活動との関連や語句のとらえ方等で様々な意見をいただいたが、最終的に、案の通りお認めいただいた。いただいた意見は、専門委員の先生方に伝え、選定資料作成の際に参考とさせていただいた。また、今後の採択基準作成の際にも、参考となるよう引き継いでまいりたい。
(一般図書も同様)

委員長

- 委員から意見はないか。
- <委員発言なし>
- (1)および,(2)の採択基準についてこの案のとおりとする。
 - これ以降は、非公開となるので、傍聴者、報道関係者は退席願う。

審議事項(3)教科用図書の選定資料等について

委員長

- 事務局より(3)教科用図書及び,(4)教科用図書(一般図書)の選定資料について、専門委員会での報告を事務局より願う。

事務局

- 調査の対象とした教科用図書は、国語と書写、社会と地図、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育の9教科、合わせて253点。
- 調査にあたっては、専門委員に「採択基準」について十分な説明を行い、示された基準にのっとって作業を進めた。
- 国語は5社56点の教科用図書について調査を行った。各社とも單元ごとに取り上げられている言語事項が明確であり、指導事項の重点化が図られている。また、伝統的な言語文化を取り上げた教材も各巻に配置されている。
書写は6社36点の教科用図書について調査を行った。各社とも点画の書き方、字形の整え方、筆使いなどの重点指導事項が各学年の発達段階に即してわかりやすく示されている。また、書写で学習したことを実生活や他教科に生かすことができるような工夫が見られる。
- 社会は4社22点の教科用図書について調査を行った。各社とも社会生活や我が国の国土と歴史に対する理解とともに、今日的課題の重要性について

の理解も深められるよう配慮されている。また、調査や見学・観察等、具体的に体験的な活動や多様な表現活動を重視し、児童が主体的に学習に取り組めるよう構成されている。

地図は、2社2点の地図帳について調査を行った。2社とも国土に対する地理的理解や社会生活の理解に向け地図の活用能力を高められるよう構成上の工夫がみられる。また、様々な目的に応じた地図とともに、写真資料や図表、イラストなどを組み合わせ、学習意欲を高めるよう工夫されている。

- 関連して、社会科の選定資料（別冊）について説明する。今回、中学校学習指導要領解説の地理・歴史及び公民において一部改訂があったこと等を受け、新たな内容が盛り込まれた社会科教科書について、通常の選定資料に加えて、別冊の資料を作成した。内容を細分化し、地域や国の発展に尽くした人物、我が国の代表的な文化遺産、領土や東日本大震災に関連した記述等について、その記載事項や記述内容を客観的に比較できるようにしました。社会科教科書選定の際の資料の一つとして活用できるよう作成した。
- 算数は6社56点の教科用図書について調査を行った。各社とも、発達の段階に応じた算数的活動が多く取り入れられ、児童が主体的に知識や技能を習得できるよう配慮されている。また、習熟のための問題も必要な分量が用意され、児童の理解の程度に対応できるような配慮がなされている。さらに、系統的に学び直しをすることで基礎・基本の定着を図るとともに、身に付けた知識・技能を活用できるような構成がなされている。
- 理科は6社28点の教科用図書について調査を行った。

各社とも、直接体験を通して実感を伴った理解を図るとともに、問題解決の過程を通して、科学的な見方や考え方が身に付くように工夫されている。

特に、児童の興味・関心を高めるため、実験や観察に関する記述、写真や図などが効果的に取り入れられている。
- 生活は8社17点の教科用図書について調査を行った。

各社とも、人や社会、自然とのかかわりを通して、児童の気づきを促し、自立への基礎を養うことができるよう様々な配慮がなされている。また、幼児教育から小学校教育への円滑な接続に配慮された単元設定や、今日的課題や他教科等との関連に配慮した内容の工夫が見られる。
- 音楽は2社12点の教科用図書について調査を行った。

各社とも、魅力ある音楽教材を幅広く取り上げ、表現と鑑賞の各活動がバランスよく設定されており、音楽を楽しみ、音楽経験を豊かにするよう工夫されていた。

特に、わらべ歌や民謡、和楽器等、日本の伝統音楽の扱いを重視し、音楽文化についての理解を深めることへの配慮が見られる。
- 図画工作は2社12点の教科用図書について調査を行った。

各社とも、それぞれ独自の視点からテーマを設け、特徴を生かした表現や鑑賞の題材を通して、児童が感性を働かせながら創り出すことの喜びや、作品のよさ・美しさを味わうことができるような内容が工夫されており。

特に、各社とも伝統文化や身近な自然、生活の中の造形美などに目が向けられるような工夫がなされている。
- 家庭は2社2点の教科用図書について調査を行った。

2社とも、実践的・体験的な活動を通して、家庭生活を営むための基本となる知識や技能を習得させるとともに、環境教育、食育を重視した内容となっている。特に、家庭生活の役割やそれをどうやって築いていくかなどを意識した内容が増え、家庭生活を大切にする心情を育むことへの配慮がなされている。

事務局

- 体育は5社10点の保健の教科用図書について調査を行った。
各社とも、心と体を関連させた内容や身近な生活環境等の課題を取り上げ、健康で安全な生活を営むための資質や能力を育てる工夫がなされている。特に、自然災害への対応、心のケアといった今日的な課題を取り入れるとともに、主体的に課題解決的な学習を進められるよう、課題提示から活用までが一連の流れとして配列されており、実践に結びつく学習ができるよう工夫されている。
- 調査対象とした一般図書は、26年度使用図書とした101冊のうちから、来年度供給できない可能性があるとして発行会社から報告を受けた2冊を除いた99冊と新規購入図書7冊の合計106冊。
今回選定資料に掲載いたしました一般図書は、小学校用68冊、中学校用については、新たに社会2冊、職業・家庭2冊、計4冊を新たに加え、38冊を一般図書として搭載した。小学校用の一般図書それぞれが、特別支援学校及び特別支援学級などの、どの学年の使用に適しているかを一覧表として載せてあります。一覧表の「◎」や「○」、「△」の見方については、例えば選定資料6ページの上段にあります「幼児絵本シリーズ くだもの」の図書を例にすると、当該図書には低学年に◎、中学年に○、高学年に△が記載されている。これは、「低学年の使用に適しているが、中学年でも一部使用でき、高学年ではほとんど使用に適しませんが、障害の程度によっては高学年の児童でも使用できる場合もある」というように、読み取ります。
同じく、中学校の一覧表にある「A」「B」等の記号の読み取り方については、例えば43ページの上段の図書を例にしますと、この図書にはAに◎、Bに○が記載されている。これは、「当該図書が比較的理解の早い生徒の使用に適していることを示しており、また、比較的理解に時間を要する生徒にも一部使用できる」と読み取るようにしてあります。
各図書とも、専門委員が本審議会でご審議いただきました採択基準を基に、選定した図書となっている。

委員長

- 委員から質問や確認事項はないか。
＜委員発言なし＞

委員長

- 20分程度確保するので、教科書等を実際に手にとってご覧いただきたい。

各委員

＜教科用図書閲覧＞

委員長

○○委員

○○委員

○○委員

- それでは、教科書を実際に見た上での感想等を発言願いたい。
- どれも工夫が凝らされている。小学校用から中学校用へのギャップが気になる程だが、児童のためになるものになっている。
- カラーがきれい。大判で文字もきれい。障害のある子の親としては、性教育について悩みがある。親が読んでどうやって教えたらいいかわからない。そういった点が分かりやすく、学校でも指導しやすい教科書があればいいと思う。
- キャリア教育、安全教育、性教育、心のケア、伝統というキーワードで見た。仕事につながっていく道ということが一般図書では幅広く扱われていた。安全教育については、震災以降話題だが、常に防災、安全教育は進めていくべき点なので、引き続き見ていきたい。今回はだいぶ震災を厚く扱っている。性教育、心のケアに関する事などは、授業の中で多くの時数をさくことは相対的には難しいかもしれないが、教科書ではよく取り上げている。

- 〇〇委員
- 〇 選定資料を読んで、教科、出版社による特徴がよく感じられた。実物を見て、だいぶ改定が進んでいることを感じた。授業、学習過程を教科書に多く盛り込んでくれている。
- 〇〇委員
- 〇 算数理科を中心に見た。九九の扱いはほぼ同じだったが、1社だけ2の段から導入してきているほどと思った。子供たちが取り組みやすいよう表現されている。理科5年「川の流れ」について、具体的に学校でできる観察なども取り入れられ、実際に教科書を使って災害を含めた扱いができると思った。教科書を使って先生がどう授業を組み立てていくのかという力量が問われていると感じた。
- 〇〇委員
- 〇 国語を中心に見た。資料を読んで、単元を貫く言語活動を重視している教科書会社が多いと感じ、実際に手に取った。言語活動を中心に据えた指導過程が示されていた。ノートづくりについては、算数などでこれまでも示されていたが、今回新しく国語にも示され、先生、児童にとってよい指標になると感じた。
- 〇〇委員
- 〇 言語活動の充実が各教科でどう扱われているか注意して見た。日常生活の中に生かしていけるような工夫が各社なされていた。学習過程が明確で、一年の中でも発展的、系統的に配列されているという感想をもった。見通しを立てたり、振り返ったりすることを大切にするという指導要領の方針を受けて、振り返りができるよう自己チェック欄を設けた教科書が複数あった。食育、福祉、自分づくり、防災といった幅広い今日的課題を各教科に下ろして味付けし、児童の興味関心を引くよう掲載されている。学年分冊と合本があったが、高学年では合本のよさと持ち運びの大変さがあると思った。一冊はそれほど重くないが、数冊そろると大変だなと感じた。
- 〇〇委員
- 〇 選定資料を読んでいくつか気になった点を実物で確認した。一点疑問が残ったので、後ほど伺いたい。
- 〇〇委員
- 〇 理科、生活を中心に見た。題材、写真、イラストに迫力があり児童の興味関心を高める上で素晴らしい。また、各社工夫していて、教科書を見ながら児童が自主的に問題解決できるよう、簡単に答えに行き着かないよう文字が減る傾向があり、よい傾向だと感じた。
- 〇〇委員
- 〇 専門委員のまとめた資料のとおり素晴らしい教科書にできあがっている。児童が自分の学習の流れを意識して、振り返ったり、活用発展させたりすることを自分で認められるよう工夫されている。「比較的理解に時間がかかる」という表現で発達のレベルを示しているが、次年度はこの表現を工夫してもらいたい。
- 〇〇委員
- 〇 それぞれの出版社の意図がきちんと教科書に反映されていると感じた。使う教師が大切にしたいことと、出版社の意図の合う、合わないがある可能性がある。生活科の教科書の角度を変えてみると代わって見えるシートや別冊資料などの工夫に驚いた。
- 〇〇委員
- 〇 各社子供たちが系統的に学べるよう工夫されている。特に、言語活動、伝統文化がよく反映されている。書き込みができるようにできている。算数であれば、その時間に学んだことを習熟するところまで考えられている。分冊と合本があったが、高学年では厚さを感じる。写真、イラストがきれいで児童が眺めるだけで学べる作りになっている。
- 〇〇委員
- 〇 採択資料と実物を見比べて、各社の特徴がよく現れていると感じた。合本で中身が詳しくなっており、自分で学ぶことができるようになってきている。目的意識、見通しをもって学習できるように、はじめに目当てや学習の進め方を示しているものが多かった。採択基準を大きく4つに分けて書いているが、国語を見ると、1、内容と、2、組織と配列で中身が入り交じっていること

- に違和感を感じた。次年度以降、内容の統一を図ってほしい。
- 〇〇委員
- 理科，生活を中心に見た。現象やものを示す写真の美しさや迫力もさることながら，最初の問題をどうつかむか，どう設定して考えていくか，どう結果を出して最後にまとめていくかという流れをよく示している教科書が多く，よく工夫されているという印象を受けた。
- 委員長
〇〇委員
- 〇〇委員の質問の内容を出してほしい。
 - 地図の資料P. 17の4の一番上の項目で，「正式な自治体名」という表現があるが，「正式」と表現するともう一社が正式でないという印象をもつ。気になっている。
- 委員長
- 〇〇委員から表現のこと，近藤委員から内容と組織について指摘があった。補足を願う。
- 〇〇委員
- 具体的にはP. 6から書写の項目になっているが，ここでは2の組織で，構成や学習のポイント，年間の計画について書かれているが，国語では，項目にばらつきがあり，特にP. 1国語，2の組織2つめの項目に，単元のねらいが書かれているが，P. 3では1内容の中に，系統性のことが書かれている。このように，1，2の項目がばらついている印象があったので，採択する上で比較しやすくなるよう項目に統一感がほしい。
- 委員長
事務局
- 事務局から回答はあるか。
 - 「正式」という表現については，反対の意味を強調する意図はないと思われるが，意図を確認し別の表現に変更する可能性もある。
- 委員長
事務局
- 「時間がかかる」という表現については事務局から何かないか。
 - ご指摘のあった表現について，時間をいただいて意図の伝わりやすい表現を検討させてほしい。
- 委員長
〇〇委員
- 〇〇委員から何かないか。
 - これまでも伝統的に使われてきた表現のようなので，先生方に違和感はないのかもしれないが，理解というものを時間軸で動くイメージでとらえ，早い遅いでとらえられてしまうのが心配。むしろ，選定基準にある，障害の特性という焦点で記述した方が資料としてよいと思う。
- 委員長
事務局
- 〇〇委員から指摘のあった記述のばらつきについてはどうするか。
 - この点については，書きぶりによってばらつきが感じられる。専門員の調査研究の過程において，文言，書きぶりの個人差，専門性の違いが反映されたと考えられる。選定資料の順序と基準の順序は必ずしも一致するものではないので，今回はこのままとさせていただくが，ご指摘はもっともなので，今後の表し方については検討していきたい。
- 委員長
- 事務局からあったように，書き方の上でそういうことも出てくると考えられるが，各項目において教科書の特徴は表されているということで今回は理解したい。その他ないか。
- 〇〇委員
- 1～4の項目までを総合的に見てのものなので，十分理解できるが，国語では，1と3にも重複が感じられる。P. 4の3学習と指導に関することの4つめの項目では，道徳教育との関連に配慮されていると述べられている。P. 5では，他教科の内容や食育，福祉，自分づくり等との関連にも配慮されていると書かれている。配慮されているという書きぶりでは，内容に付いてしか述べられていない。実際には，習得したことを活用していく段階でこんなふうに広げていくことができるということを意図していると考えられる。分けが難しいところがある。
- 委員長
- 教科書の中身についてではなく，4体裁に関する事で，どの教科書も環境に配慮した再生紙を用いたり，インクを用いたりしているが，材料だけで

はなく製造過程の中でグリーン電力を用いている会社もあるので、それも加えていただく必要がある。内容の工夫だけでなく、児童の安全や環境への配慮も行っていること自体が学習の材料にもなる。

- 選定資料で誤字や児童、子どもがあったり、教科書との表現の違いに気づいたが、事務局に伝えればよいか。
- 短時間で製作していることもあり、用語の統一や誤字、脱字があれば指摘していただいで改善を図ることとしたい。
- その他異議がなければ、原案で進めることを確認する。なお、修正意見については、事務局と委員長、副委員長にらせていただきたい。

審議事項（４）教科用図書（一般図書）の選定資料等について

委員長

○○委員

- 特別支援教育に関係する先生方の意見をお聞きしたい。
- 性教育について分かりやすいものがあるとよい。また、先程、中学生が使用する一般図書にキャラクターが載っている本はいかがなものかといった話があったが、支援学校の中学部の生徒の実態は多様で、興味関心のところで必要な生徒もいるので、それぞれの実態に合わせて選択できるということでは、よいのではないか。

○○委員

- 美術等で紙染めなど一つの分野に特化した本があるが、現在の美術的表現は多様になっているので、バリエーションに富んだ技法的なものがあるとよい。

委員長

- 標記等の技術的な問題点については、事務局に伝えていただきたい。
- ここからの審議は公開となるので、事務局対応をよろしく。

審議事項（５）その他

委員長

- 答申のまとめ方について
昨年度の例を申し上げる。諮問事項の採択基準及び選定資料について、審議内容を基に教育長に答申を行う。その際、答申に向けて文言の確認や整合性の確認等には慎重に臨み、時間がかかることから、本日はなく後日答申を行うことにした。答申は審議会を通して行うものだがスケジュールの関係で再度召集することも難しく、最終的な権限を委員長、副委員長に一任してもらった。今年度もこの方法でよいか。

<委員発言なし>

委員長

- 昨年度の進め方で答申を行うものとする。本日の内容を踏まえ、副委員長と日程を調整して答申内容をまとめる。まとまり次第教育長に答申し、委員にはその写しを送付することとする。

閉会

事務局

<事務局からの連絡省略>

委員長

- 以上で審議会を終了する。

義務教育課長挨拶

- 本日は、長時間にわたりまして、採択基準及び選定資料につきまして、審議をいただき、誠にありがとうございました。

本日の審議会の中で、事務局より説明させていただきましたが、この1月28日に「中学校学習指導要領解説（社会科）」の一部改正があり、中学校に関する通知ではありましたが、小学校にもその影響が及び、短期間の中で、新しい小学校教科書にも、「領土」「自然災害に関する内容」が盛り込まれ

ました。

このことを受け、今回、初めて、社会科（別冊）の選定資料を作成した次第です。この後、答申を受け、市町村教育委員会にも送付するわけですが、市町村教育委員会においても、法的には来年度より、外部から「採択結果及び理由の公表など」が求められることとなります。そういう意味では、今回審議いただいた社会科（別冊）選定資料は、教科書の優劣をつけるものではありませんが、記載内容や分量によって、比較検討ができる有効な資料になるのではないかと考えております。

教科書に関しては、ご承知のとおり、現在、世の中の関心が高くなってきており、新聞報道やTV報道等で、度々取り上げられております。学校教育の中の主たる教材である教科書について、多くの人に関心をもってもらい、多くの人に認めてもらうことは、むしろ大切なことであり、子どもたちの教育の充実につながるものと捉えております。

結びになりますが、審議委員の皆様には、公私ともに、ご多用の中、審議委員を引き受けていただき、2日間にわたって慎重に審議していただきました。改めて、御礼を申し上げて、閉会の挨拶といたします。ありがとうございました。